

令和5年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立平岡幼稚園
------	------------

1 教育目標	すこやかに あたたく 生き生きと遊ぶ子の育成
---------------	------------------------

2 基本方針	<p>園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。</p> <p>◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を考慮して指導を行う。</p> <p>◇園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。</p> <p>◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に考慮して活動を展開する。</p>
---------------	---

3 指導目標	<p>目指す幼児像として設定し、日々の保育に努める。</p> <p>①心も体も健やかで明るい子(健康) ②友達と支え合い、仲良く遊ぶ子(人間関係) ③自然に親しみ、生き生きと遊ぶ子(環境)</p> <p>④言葉で気持ちを伝え合う子(言葉) ⑤感じる心・考える力のある子(表現)</p>
---------------	--

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
基本的生活習慣の確立	身の回りのこと等、自分でできることを進んでしようとする自律心が育っているか。(指導目標①)	B	挨拶は進んでする姿が多く見られるようになった。保護者も子ども達によく声を掛けられている。身の回りの始末や片付け等は、今後も家庭と連携を図りながら取り組んでいく必要がある。	園に来るたびに、園児が進んで挨拶ができるようになってきていると感じる。園外でもしっかりと挨拶ができる子になってほしい。	B
思いやりのある優しい気持ちをもった子の育成	自分の気持ちだけでなく、他者の思いを受け入れ、相手を思いやる気持ちが育っているか。(指導目標②④)	B	協同的な活動を保育の中で取り入れていくことで、友達と一緒に考えたり、意見を交換したりする姿が多く見られるようになった。地域やユニット等の交流も深めながら、人との関わり方や相手のことを思う優しい気持ちを今後も育っていききたい。	・行事等に参加し、園児同士の仲の良さから 気持ちが育っていることが分かる。 ・自分の気持ちを伝えることの大切さを園で教えてもらっていることが保護者としてもありがたい。	A
最後まで粘り強く取り組む力をもった子の育成	様々な活動に意欲をもって取り組み、目標をもちながら最後まで懸命に取り組む力が育っているか。	B	昨年度よりも前向きに物事に取り組む姿が多く見られた。保護者も子ども達の背中を押し、協力的である。運動や体力面についても次年度は力を入れていきたい。	・教師がここに志じて丁寧に気配りをして指導しているので、次年度も楽しみである。 ・家庭でも園と同じ方針で取り組むことで、親子で一緒に楽しみながら取り組めるようになった。	B
家庭との連携	幼稚園の教育内容を様々なツールを用い、保護者にタイムリーに発信していく。	B	写真の掲示だけでなく、園からのおたよりに教育的なねらいを加えて発信している。幼稚園や幼児教育で大切にすべきことを今後も保護者に十分に発信していきたい。	・園からの手紙だけでなく、写真等も活用しながら発信していることで、園での様子がよく分かるようになった。	B